令和３年度　長崎県立平戸高等学校学校関係者評価

１　評価の実施期日

令和４年２月１６日（水）　１５：００～１６：３０

２　学校関係者評価委員

学校評議員と兼務　５名

３　学校関係者評価の内容

（１）学校現況報告

・学校経営方針、検定合格状況、部活動実績、進路決定状況、授業研究会、教育相談

（２）学校評価説明

・生徒・保護者・職員評価アンケートの結果と分析

（３）委員からの意見等

〇保護者評価における「入学させて良かった」の項目が、学年が上がるにつれ高くなっている結果がすべてを表している。

〇学習における評価項目の生徒と保護者との差異がある。学習意欲がもっと高まるような授業改善をしていただきたい。

〇アルバイトについて、高校生の時期から勤労体験をさせるのは大切なことだと思う。

〇生徒の表情が柔らかい。叱って育てるのではなく寄り添って育てるという姿勢によるものだと思う。

〇地域のイベントが中止になっているが、再開されたらぜひ参加してもらって地域の活性化に一役買って欲しい。また、高校生が主体的に企画するような活動など、ふるさとを愛する心を育てていけたらと願っている。今年度、平戸高校の職員が地域の駅伝に参加したことで、地域の人たちはとても喜んでいる。

〇スマホ会議を生徒自身での取組として実施しているのがすばらしい。

〇ソフトテニス部の活躍が、他の活動へのよい刺激や自信につながって欲しい。

〇授業改善の継続的な実践で、５０分間協同的・意欲的な学びができていることは本当にすばらしい。

〇より開かれた学校づくりを期待したい。外部への「見える化」をお願いしたい。